

Access Report

2018年 5月 8日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・逗子開成 ・大妻多摩 ・北鎌倉女子 ・聖園女学院 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜雙葉 ・駒込中 ・日出学園 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テスト ・私立大学難化 ・入試定員厳格化 ・高校の朝課外 	<ul style="list-style-type: none"> ・都立高の制服化 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・母娘関係

学校情報

逗子開成 オープンキャンパス

日時 5月19日(土) 9:30~13:30

内容 特別授業、クラブ見学・体験練習、生徒による校内ツアーガイド、入試相談・防災展示コーナー、他

申込 ホームページより

詳細は学校のホームページをご覧ください。

<http://www.zushi-kaisei.ac.jp/>



大妻多摩 塾対象説明会 (2018年4月27日)

1)入試について

1. 平成30年度入試を振り返ってのまとめ 教頭 辻先生

2018年入試結果

	1回	国際	1回午後	2回	3回	プレゼン	帰国	
	2/1	4科	2/1P	2/2	2/4	2科プ	11/25	
	4科	4科	2科	4科	合科	4科	2科プ	
募集人数	50	若干	20	40	10	20	若干	若干
応募者数	109	4	287	252	17	240	5	22
受験者数	105	4	282	148	15	88	3	22
合格者数	50	2	118	109	11	45	2	21
入学者数	41	2	12	55	9	36	2	8

昨年からは少し回復できた入試結果であった。

・出願者、実受験者ともに回復。結果的に、午前入試も第2回(2月2日)を除き、倍率も2倍に回復した。

・始めて2年目となる「社理合科型試験入試」と「プレゼンテーション入試」については、日程を入れ替えたことで出願者数および受験者数が増えた。

「社理合科型試験入試」 2月4日から2月2日へ。

昨年 出願12 受験6 合格6 入学1

今年 出願17 受験15 合格11 入学9

「プレゼンテーション入試」 2月2日から2月4日へ、対象を帰国生から全受験生に。

昨年 出願3 受験1 合格0 入学0

今年 出願5 受験3 合格2 入学2

※特に、「プレゼンテーション入試」については、自己アピールはなく課題を1ヶ月前に出し、それについて「自分はどうか考えるのかを資料を用意してきて効果的に発表し、質問に答える」形式だが、①受験生の発表がどれも素晴らしく、②新たな力が見られる未来型の入試として期待できそうである。

・すべての回の入試で「記述式の問題を1～2題、出題した。平均点がかなり下がることが懸念されたが、今年もそうはならなかった。受験生はよく対策をしていたようだ。

・複数回受験者が多かったし、その合格率は高かった。

4回受験 82.1%(23/28)、3回受験 84.9%(73/86)

複数回受験の利点は、①場慣れによる逆転劇、②同じ傾向、難度で作問しているのので、特に算数の問題で有利になる、本校が第一志望であれば、押さえ校をしっかり作って複数回受験をしてほしい。

併願校(上位5校のみ記します)

2月1日午前

①恵泉12 ②桜美林10 ③多摩大聖10 ④実践女子9 ⑤共立第二8

2月1日午後

①日本女子58 ②鷗友49 ③洗足39 ④吉祥女子36 ⑤晃華学園29

2月2日午前(2回)

①日本女子36 ②実践女子18 ③桜美林15 ④明中八王子13 ⑤鷗友12

2月2日午前(2回合科型)

①県立相模原3 ②立川国際3 ③都立三鷹3 ④都立南多摩3 ⑤桜美林・帝京大・八王子2

2月4日午前(3回4科型)

①実践女子13 ②帝京大13 ③桜美林11 ④恵泉9 ⑤昭和女子

・来年も、試験日程は今年同様。

2. 国語科 武江先生

受験生に求めるもの

①基本的な語彙力、読解力、丁寧に読み書きする姿勢。

②自分の中に言葉を幅広く取り込み、使いこなすことができる。自分の意見を論理的に記述することができる。

そのため、100字以内の記述問題を出題。漢字問題出題数を20点以内から15点以内に変更し、その分記述問題の配点を高くしている。記述問題の全受験生と合格者の正答率の差が大きい、記述対策は必須だと思う。

自由作文を出題する意図としては、世の中で起きている様々なことに興味を持ち、それを自分のこととして受け止めてもらいたい、自分の意見を論理的に表現してもらいたいことにある。採点基準は、自分の主張とその根拠となる理由が述べられていれば正解とする。

記述問題を出題する意図として、内容把握ができてほしい、設問の意図をきちんと読み取ってほしい、理解したことを文章化できてほしいことにある。

生徒達に伝えて欲しいことは、記述問題は頑張っても書く、指定字数の8割は書く、「なので」「けど」などは減点、1マスに1字の原則を守る、字数オーバーは大幅に減点になるということ。また、漢字は丁寧に書いてほしい。

3. 数学科 松田先生

受験生に求めているもの

①計算力(中学以降の「数学」の基本)

②地道な作業能力(地道に数え上げる「集中力」、試行錯誤して法則性を見つける力)

その地道な作業能力については、入試問題にも反映させている。今年の問題では、数列(第1回大問4)、場合の数(第1回 大問3)

出題形式と難易度

・午前入試について…各回共通50分、100点満点、冊子形式。1. 計算(6点×3題) 2. 雑小問(7点×3題)3~6. 応用問題(7点×8題+5点×1題)。概ね易~標準レベルの問題。余白に途中式を書く(大問3~6は採点対象になる)。数列、場合の数、動点、3:4:5の直角三角形は頻出問題。

・午後入試について…午前入試にくらべると難しめ。解答用紙あり。1. 計算(5点×2題) 2. 雑小

問(6点×8題) 3～5. 応用問題(7点×6題)。1～4は最終的な答えのみ記入、5は途中式も書く(採点対象になる)。

採点していて感じることとして、①計算能力の差が大きかった(途中に口のある計算問題、途中計算が煩雑な問題)、②問題文の読み違い・勘違いが多い(落ち着いて丁寧に取り組んでほしい)、③途中式は丁寧なほうがよい(途中式の書き方も整理・作業能力の一種であり、部分点を与える)。

4. 社会科 篠野先生

大妻多摩の社会科が求める力

- ①基礎的・基本的知識の確実な定着
- ②「知識」と「情報」を結びつけ論理的にまとめる力
- ③グラフ、地図、資料を正しく読み取る分析力
- ④時事問題に関心を持ち、定着した知識とつなげているか

問う問題は基礎的なもの、作問にあたっては大妻多摩に入学するにあたって必要な知識か否かを教員間で話し合っている。

新大学入試に向けて、様々な出題形式で問うことで「思考力」「判断力」「表現力」、そして「読解力」も見たいと考えている。近年の出題傾向として、①数年前より、書籍・新聞などを材料にした問いを増やしている(→思考力・読解力をみる)、②自分の意見を書くタイプの問題も出題している(→判断力・表現力をみる)。

入試対策

論述問題は問題文全体が理解できているかを問う問題を作るよう心がけている。→答えに関わる部分だけでなく、問題文全体を読み、文脈を理解する力が必要。自分の意見を論述する問題も出題する。→社会科の知識を実生活と結びつけること、そして普段から書く訓練をすることが大切。

- ①教科書やテキストの丁寧な学習、②過去問に取り組む、③問題文の指示をよく読む習慣をつける、④時事問題については大きなニュースをチェックしておく、ことが大切。

5. 理科 右近先生

①合格者と不合格者で正答率に差が出たのは、論理的思考力や読解力を問う標準的な問題、基本的な計算問題であった。

来年度入試に向けて

①出題方針の変更

今までは、4分野からの出題であったが、合科型問題を出題する可能性がある。

②作問の意図、受験生に求めるのは、考える力(論理的思考力)であり、記述問題は考える力と表現力が必要。示された実験の内容や条件から、その実験の狙いを探る想像力や読解力、比の計算の式を求める思考力と比の計算の答えを求める計算力(過去問対策は必須)、日常の自然現象に興味をもつ科学的な好奇心をみたい。

③対策として、・標準的な問題集を繰り返し解いて基本的な知識を定着させる。

・習った事柄を日常生活と繋げて考える。

・過去問はヒントの宝庫なのでしっかり取り組む。

2)2018年春の大学合格実績と進路指導について 進路指導部長 小野先生

本人の希望するところに行けるよう、その実現のための応援をするのが、本校の進路指導の基本である。ただ、生徒にとって、受験校あるいは志望する学部は知っているところからしか選べない。したがって、生徒の視野を拡げ、選択肢を増やしてあげることが大切。またそのために必要な力(学力)を身につけさせることも大事な仕事だ。

大妻女子大の付属ということでその進学者が多いのだろうと思われることがあるが、今春実際に進学したのは4名(推薦2、一般2)である。

今年の大学入試は、入学定員厳格化による影響で上位の有名私立大学で「志望者減・合格者減」が今年も続いた。昨年にくらべて合格者増の大学もあったが全体としては厳しい結果であった。

確かな学力を身につけさせる。基礎学力をつけるための補習、補講、受験勉強合宿などさまざまな形のものを用意している。また、自学自習の姿勢を早いうちにつけさせたいので、「進路手帳」を持たせ学習スケジュールの管理などの意識を高めている。

3) 2020年からの新大学入試と大変革の国際化時代にどう対応するのか

1. 教務部長 海野先生

これからの教育改革の主眼は、「探究」活動の充実。その方向の中で大学入試も変わっていく。この流れに対応するため、大妻多摩では新学習指導要領の改訂前に、その精神を先取りした新カリキュラムを導入した。高1では学校独自科目として「探究基礎」を設定、国公立対応や論理的思考力の充実を図るために、高2では「数学Ⅱ」を必修化。以上の教育課程の改訂を柱として、「思考力・表現力・判断力」の養成をさらに進めていく。

2. 英語科主任 伊藤先生

6年間の英語・国際教育プロジェクトについて

2017年から、世界を背景に活躍する女性を育てることを目的に、英語教育の強化カリキュラムと、キャリア教育の要素を持った国際教育プロジェクトを開始。その内容は6年間を見通す系統だったプロジェクトとなっている。(詳しい内容は大妻多摩のホームページをご覧ください。)

3. 生徒指導部長 秋元先生

人間関係スキル・キャリア教育プロジェクト

本校のキャリア教育には2つの特徴がある。1つは、「人間関係スキル」。中学では、頼む・断る・提案する・反対する、などの具体的な場面での言語コミュニケーションの方法や、共感スキル、リラクゼーション呼吸法、人間関係の距離の考え方などを扱う。高校では、和食、洋食のマナーや言葉遣い、冠婚葬祭マナー、女性としての立ち振る舞いなど、大人の女性としての一般のマナーを指導。2つめの特徴は、「日本人としてのアイデンティティーを育む」。グローバルに活躍する人材の育成に欠かせないのが日本人としてのアイデンティティーである。茶道教室、歌舞伎鑑賞会、社会科都心巡検、鎌倉研修、中3修学旅行(広島など)、東京下町研修、高2修学旅行(京都・奈良)など、日本の文化や歴史を学ぶことに必要不可欠なプログラムを組み込んでいる。

4) 大妻多摩の校風と教育理念、めざすもの 校長 谷林先生

教育改革、大学入試改革、英語4技能など、いろいろな情報が氾濫しているが、その中身についてはよく知られていない。大妻多摩では、それらについての情報をホームページで発信している。それらに対して大妻多摩はそれについては6項目を掲げた。それは、

- 1 人間関係スキル・キャリア教育プロジェクトと英語・国際教育プロジェクトの充実
- 2 探究プログラムの実践
- 3 ICTの充実
- 4 「主体的・対話的で深い学び」の充実
- 5 中学補習や高校受験対策講座・勉強合宿の強化
- 6 AIを用いたプログラミング授業の導入

大妻多摩では創立30周年を記念して、新校歌を制定することに。作詞は日本を代表する詩人である谷川俊太郎氏、作曲はご子息の谷川賢作氏。11月8日には新校歌の披露会が開かれる予定。

5)後記

受験生対象のイベントとしては6月9日(土)にオープンスクール(説明会同時進行、参加予約必要)がありますので、新緑の美しい大妻多摩を訪問してみたいはいかがでしょうか。(報告 A. Ta)

<http://www.otsuma-tama.ed.jp/>

北鎌倉女子 学園生活体験会

日時 6月23日(土)13:30~15:30

対象 小学校3年生~6年生

内容 授業体験、部活動体験、音楽コース体験、食堂体験、他

申込 学校のホームページより

詳細は学校のホームページをご覧ください。

<https://www.kitakama.ac.jp/>

聖園女学院 2018年入試結果

	1次	総合力	2次	英語	3次	4次	
試験日	2/1	2/1P	2/2	2/2P	2/2P	2/3P	
募集人数	25	30	15	10	15	15	
応募者数	65	69	82	3	122	88	
受験者数	61	53	51	2	51	29	
合格者数	26	30	23	0	23	19	
合格基準							
2科	150	86	122	—	121	88	(200点満点)
4科	200		153				(300点満点)

親子校内見学会

日時 5月12日(土)①9:00~10:30 ②11:00~12:30

各回とも内容は同じ

対象 小学校5・6年生の親子

申込 要予約(TELまたはWebで)
詳細は学校のホームページでご確認ください。

<http://www.misono.jp/>

横浜雙葉 オープンキャンパス

日時 7月7日(土) 9:00~14:30 入退場自由

対象 小学生とその家族対象

内容 学校説明会、質問コーナー、部活体験、他
授業体験(小6・小5対象 完全予約制 学校のホームページから申し込み)

http://www.yokohamafutaba.ed.jp/highsch/PDF/18_open.pdf

申込 小学生と付添のご家族は予約なしで入場可

詳細は学校のホームページ等でご確認ください。

<http://www.yokohamafutaba.ed.jp/>
